

CSRマネジメント

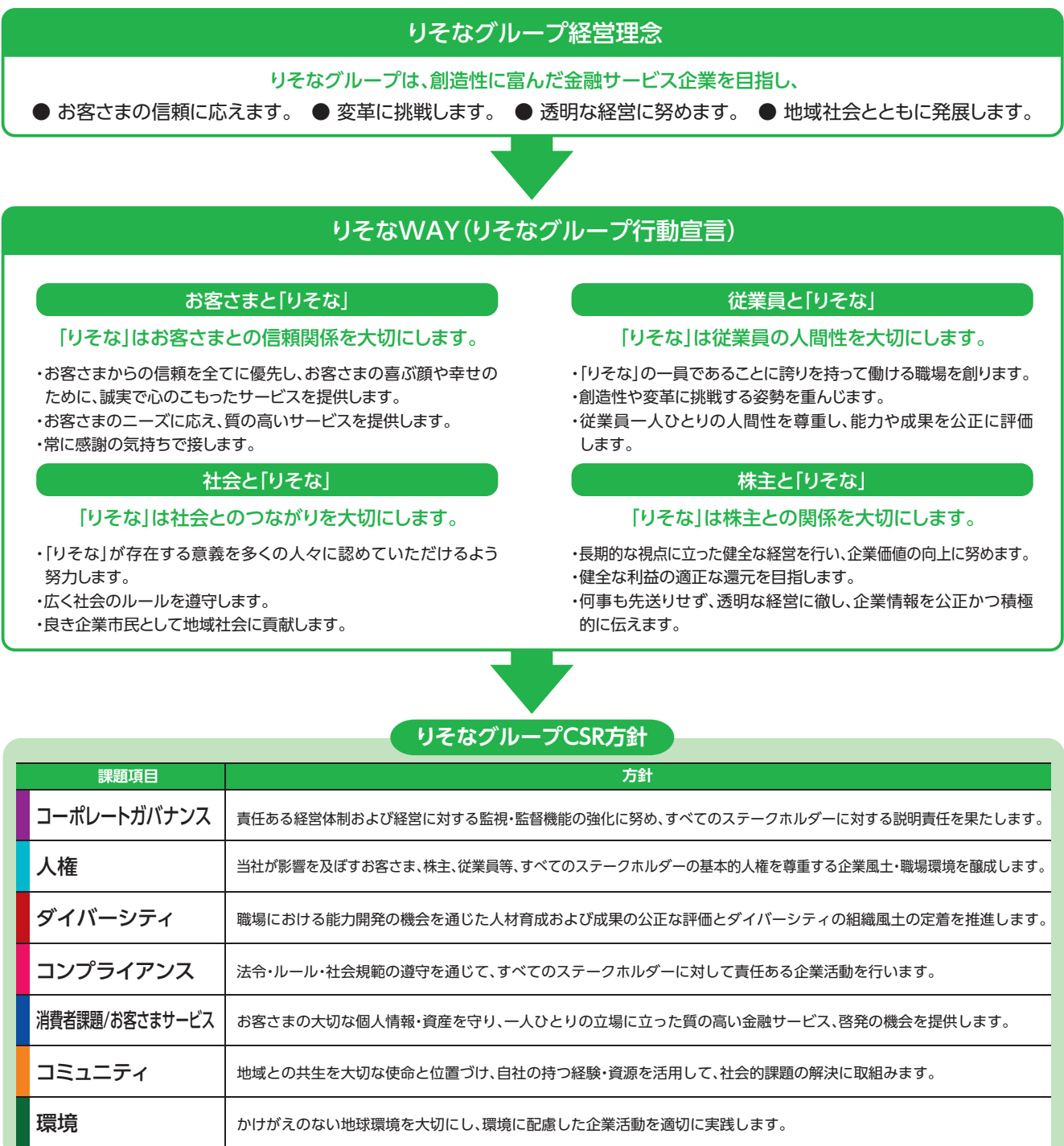
CSRマネジメントに関する基本的な考え方

りそなグループでは、全役員・従業員が進むべき方向、共有すべき価値観を示すものとして「りそなグループ経営理念」を定めるとともに、その基本姿勢を具体化するものとして「りそなWAY(りそなグループ行動宣言)」を定めています。

これらに基づき、りそなグループが「持続可能な社会づくり」に貢献するため、組織として「企業の社会的責任に対する取り組み姿勢」を明確化すべく、「ISO26000」が掲げる中核的課題に沿って「グループCSR方針」を定めました。

この「グループCSR方針」で、明確に示した7つの社会的課題に対し「CSR目標」を定め、取り組みを推進する仕組みを導入しております。

■ 経営理念、行動宣言とCSR方針の関係



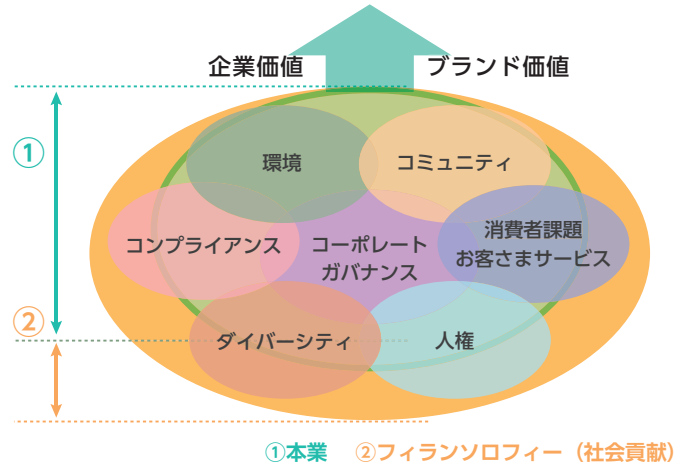
■ CSR経営の推進

りそなグループにとってCSR経営とは、本業を通じて7つの課題項目の解決を行い、持続可能な社会づくりに貢献することと位置付けています。また、フィランソロフィー（社会貢献）においても、本業と同様、7つの課題項目の解決に向け活動しています。

■ 重要課題の特定

りそなグループでは、CSRへの取組みに対する社会的要請を認識し責任ある企業活動を推進するため、2005年にCSR委員会を設置。「経営理念」[りそなWY(行動宣言)]に明示されているステークホルダーとの関係のあり方や、りそなグループにとっての重要性観点から「地域、女性、子供」を重点課題としましたが、その後、お客さま、株主、地域社会、従業員からの意見と、国連グローバル・コンパクトやISO26000などの国際的な原則・基準をもとに7つの課題項目を見直し、改めて「地域、ダイバーシティ(女性)、次世代(子ども)、環境」を重点課題に選定しました。

CSR経営 = 持続可能な社会づくりへの貢献



重点課題

地域

“地域社会とともに発展する”という経営理念のもと、真のリテールバンクを目指します。

次世代

地域社会の発展のためには、次世代を担う子供たちへの育成支援が不可欠であり、自社の持つ資産・ノウハウを活用した様々な取組みを実施します。

ダイバーシティ

りそなグループが様々な改革を進めていくためには、これまで以上に多様な人材の活用が必要と考えています。特に、女性が活き活きと活躍する社会の実現に向け取組んでいきます。

環境

地球環境を守っていくことは人類が活動していく上での必須条件であり、環境負荷の低減、環境保全活動に取組むことは、私たちの責務と考えます。

グループのCSR推進体制

経営の重要課題の一つであり、社会的要請の高まるCSRへの取組みの一層の強化・向上を図るため「グループCSR委員会」を設置し、定期的を開催しています。

「グループCSR委員会」は、りそなホールディングス社

長を委員長とし、グループ各銀行の社長をはじめとするメンバーによって構成され、本委員会を通じてりそなグループ内にある様々な経営資源を活かしたCSR活動を実現しています。

